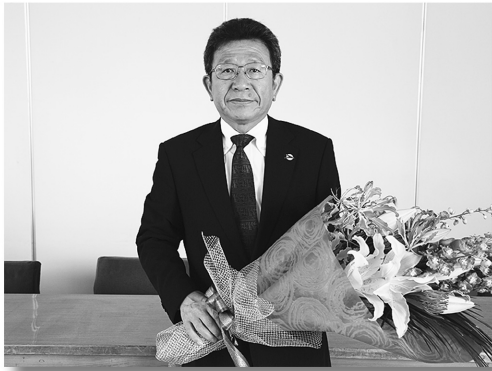


藤里町長選挙

佐々木文明氏3期目を無投票当選

任期満了に伴う藤里町長選挙が7月16日に告示され、現職の佐々木文明氏（62歳）以外に立候補の届け出がなく、無投票での3期目当選を果たしました。



3期目を迎えた佐々木町長

【略 歴】

昭和31年11月3日生まれ 能代高等学校卒業後、役場入り。農林商工課長、商工観光課長を経て、平成23年7月町長選に立候補し、初当選。県町村会理事・能代山本広域市町村圏組合理事・秋田県指定水防管理団体連合協議会理事・県道西目屋二ツ井線早期改良整備期成同盟会会長など

就任にあたって

この度、町民の皆様方の絶大なるご支持、ご支援を賜りまして、三期目の町政を担わせていただくことになりました。これまでのご協力、ご指導に対しまして、衷心より厚くお礼を申し上げますと共に、再選に当たりまして皆様方にお示し申し上げました公約の実現に向けて、一步一步着実に歩みを進めて参りたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

三期目の最重要課題は何と申しましても、人口減少と少子化への取り組みであります。空き家の活用は勿論ですが、移住・定住促進住宅の建設を加速し、少なくとも新年度からは入居出来るようにしたいと考えておりますし、子育て世代への支援を充実させて参りたいと思います。現在鋭意進めております「義務教育学校」の設立に向けて、世界自然遺産白神山地の麓の町に相応しい、特色あるカリキュラムの構築に向けて、ハード面はもちろんのこと、ソフト面についても最先端を行くシステムの導入を目指して参ります。

基幹産業である農林業の振興につきましては、従来どおりの助成事業は継続しつつも、若い後継者或いは、担い手の確保が喫緊の課題でありますので、国・県の支援事業を活用しながら、確実に自立できる体制の構築として、更に数年間の支援体制を整備して参りたいと考えております。

森林資源の有効活用を進め、貴重な財産として適切な森林整備を推進することにつきましては、各地区の分収林の満期による有利販売に加え、「木の駅」事業を推進して参ったところですが、森林環境譲与税の交付により、未利用林地の有効活用を図りながら、国土の保全と就業機会の増大につなげて参りたいと考えております。

将来も住みよい、住み続けたい町の構築のために、様々な取り組みをして参りたいと考えておりますし、これら施策の着実な実現のためにも、様々な場面で活躍・実践する「人づくり」にも並行して取り組むこととお誓い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。